

第2回八千代町公共交通会議 議事録要旨

日 時：平成30年11月2日（金） 14：00～15：10

場 所：八千代町役場 本庁舎4階 大会議室

出席委員：21名

上野委員（会長）、小島委員（副会長）、鈴木委員（副会長）、中山委員、廣瀬（賢）委員、新井委員
諏訪（善）委員、須澤委員、秋葉委員、久保田委員（代理：寺門）、園部委員（代理：久松）
大滝委員、澤島委員、廣瀬（秀）委員、沢木（健）委員、沢木（民）委員、青木（幹）委員
諏訪（洋）委員、青木（良）委員、中村委員、塚原委員

欠席委員：5名

富沢委員、皆川委員、鬼澤委員、坂委員、加藤委員

事務局：5名

八千代町まちづくり推進課 馬場、斉藤、砂見
（株）ケー・シー・エス 東京支社 城平、新井

次 第：1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）地域の現状整理及び住民ニーズ調査の結果について・・・資料1、参考資料1

（2）今後の公共交通のあり方について・・・資料1、参考資料1

（3）先進地視察研修について・・・資料2、2-1、2-2

4 その他

5 閉 会

【会議内容】

開 会

あいさつ

上野会長より、平成30年度第2回会議にあたっての挨拶

議事（1）地域の現状整理及び住民ニーズ調査の結果について

〔事務局より資料について説明〕

【質疑・異議等なし】

議事（2）今後の公共交通のあり方について

〔事務局より資料について説明〕

【質問・意見等】

委員： アンケート調査の結果を踏まえて、今後の方向性を決めていきたいと思います。

結果の内容としては通院や通学に困っているという意見があり、一方で生産年齢人口の世代でも新しい公共交通を希望する意見があることが分かりました。

町内の移動のニーズも多い一方で、下妻市や古河市への移動のニーズも大きく、市外へのバスの運行が将来的には重要になってくることが調査からわかりました。

意見としては、24 頁にまとまっているように、八千代町内の移動を支える新たな公共交通について優先的に検討し、その後、ステップ2で地域間について検討するという手順で間違いのないと思います。

町内の希望としてバスが多いようだが、デマンド交通はあまり住民の方には知られていないと思いますし、八千代町の属性から見ると、人口分布も施設の分布も強い傾向を持っておらず、分散している状況があるため、全域をカバーすることが難しいバスよりもデマンド型交通の有効性の方が高いのではないかという見方をしています。やはり、周辺の県内の市町村でも同じような属性を持っている地域が多く、そこではデマンド交通の運行がたくさん見られます。

市町の大きさや、交通の需要のパターンもあり一概には言えないが、そういった面を勘案してもデマンド交通の有効性は捨てきれないと思います。

さらに、高齢化が今後10年で進行するとドア・ツー・ドアと言って、玄関先まで来てくれる交通の重要性はやはり大きいと考えます。

私の意見としては、デマンド交通はまだあまり知られていませんし、委員の皆さまもいろんな課題があると思いますので、視察研修の機会を設けて頂いたので、それを見て、どんなことが検討案として考えられるのかということをご皆さんで理解を深めた上で、デマンドタクシーか巡回バスか、八千代町にうまく適合する公共交通を考えていきたいと思っています。

委員： バスへの要望について、年代での差が非常に大きいと感じます。これを全てカバーするのはなかなか大変だと感じています。

事務局からは、3つの案が用意されているが、それぞれに長短があるかと思います。

再編案①については、従来の巡回バスを買い物利用にも使えるということです。

再編案②ですが、巡回バスということですので、非効率的な面はあるにしても、公共交通という見方からするとあらゆる人が使えるという観点から、町外から八千代町に来て知らないという方も利用できると思われると思います。将来性はあると思います。バス停を増やすということですが、その場合、バス停はどのくらい増やすのか、現時点で考えているものがあればお聞かせいただきたい。

また、無料というニーズがあるが、私は無料でなくてもいいと思っています。無料ではなく有料でやるのもありではないでしょうか。

公共交通は、町の利便性を高めていくためのもので、利益を求めるものではないので、利用にあたり多少の負担が発生してもいいのではないかと考えます。

再編案③については、無駄はないと思いますが、福祉タクシー的な部分に特化してくる感じがします。そのうえで、デマンド交通になった場合に「高齢者のみの世帯」では、利用対象者はどのくらいいると見込んでいるのでしょうか。

また、この場合の目的地は町内のみになるのかどうか聞きたい。

事務局： まずバス停の数については、現在運行している巡回バスのバス停が約 108 箇所あり、これは 2 台で運行する再編案②の方ではルートにもよりますが 2～3 倍程度、200～300 箇所を想定しています。

再編案②は無料ではなく有料でもいいのではないかという意見については、今後、皆さまの意見を聞きながら有料にすることも検討したいと考えています。

再編案③の対象者については、利用対象者は全ての町民となるが、事前に登録をして頂いた方で考えています。実際の利用者は免許を持っていない方で、65 歳以上の方や、身体に障害のある方が利用されるのではないかと考えています。

制度の周知に努めるとともに、多くの人に利用してもらえる運用方法も検討していきたいと考えています。

まずは町内の整備ということで、町外に向けた路線バスはその後に整備をして、町外に向けた路線バスのバス停までいく足も必要になってくるかと思っておりますので、まずは町内の運行を考えています。

委員： 私もある程度お金を取ってもいいのではないかと考えています。

再編案②で、例えばこの巡回バスのエリアを広げていくと、おそらくすごく広いルートが必要になると思いますので、無料であればそういう意見があるが、有料であれば若干経費も少なくなると思います。27 頁にある既存の公共交通と町の公共交通の関連性について、まずは町内の巡回バスについて利便性の向上とあったが、それと並行して八千代町から古河方面に路線バスが走っているが、巡回バス等を整備して利用し易くすると、この路線バスはなくなる可能性があるのではないかと考えています。現在も赤字で国・県から補助を受けて運行をしていると思いますが、国・県の補助も利用者が少なくなればなくなるので、巡回バスの利用を拡大してしまうと将来的に路線バスが使われなくなり、町からすべての路線バスがなくなるということもあり得るので、並行して路線バスを活かしながら町内を走るようにした方がいいのではないのでしょうか。

人口が分散していて非常に不便な地域で、町内の交通も絶対に必要だと思いますので、並行して路線バスを活かすということを検討して頂きたいと思っております。

委員： 医療機関巡回バスの利用者からは、ルートが広すぎるという意見があります。ルートを細かく分けようとしても車が 1 台では足りない。2 台でやっても厳しいのではないかと考えています。

また、現在は買い物も寄って頂きたいという意見も多く出ているが、それをやると時間通りに運行ができなくなってしまいます。

デマンド交通をやった方がいいのではないかという話も出ていますが、デマンド交通となると各家庭に迎えに行かなければならないため、時間が足りない。その場合、4 台くらいは必要だと思いますが、どのくらいの実費がかかるのか、町の予算がどのくらいあるのか。有料にした方がいいのではないかという話もありましたが、有料にすると時間が遅れてしまうと苦情がきてしまいます。今ですら、遅れると苦情がきます。今度、視察に行くが、それを踏まえて検討して、これからの会議の中で検討していただければいいのではないかと考えています。

会長： それでは、今後の公共交通のあり方については、提案のあった再編案 3 つの中から、次回の会議において決定したいと思っておりますが、異議ありませんか。

委員： お金の問題も絡んできますが、次回で決定できますか。

委員： 国からの助成金は出ないのでしょうか。

事務局： 現在、県の補助金を頂くことで、今年の実業費の対象経費の2分の1は頂くことになっています。三箇年計画でやれば県の補助が出ると聞いているのですが、どの辺まで出していただけるか、その辺は今後の計画次第かと思っています。運行経費もありますが、来年、再来年は初期投資だけで終わってしまうかと思っています。その後の保障については、今後検討していきたいと思っています。

会長： 他にありますか。

委員： 次回に結論出すのが早いと感じるのは、25頁の再編案②、③これを片方だけやるなら可能だろうが、両方という意見もあるのではないのでしょうか。

巡回バスのルートを広げて、なおかつそれでも足りないからデマンドタクシーも入れたいという意見が出てきてしまうのではないかと思います。

デマンドタクシーは年配の方や病院に行くため、あとは車の免許を持っていない人にとっては非常に便利だと思います。ただその代わり料金がかかってしまう。そこで、すぐに結論を出せるのかどうかという心配があります。もちろん意見をたくさん言って、最終的には再編案②でやろうということになるかもしれませんが、それはどうなのかなと心配しました。

事務局： 町の方としても予算の関係があるので、先ほど言ったように、県の補助金も考えて出来れば今回の会議でということでは会長にもお願いしたのですが、いろんな議論、視察研修の結果により、中身の検討が必要になってくるかと思っています。予算ありきではなくて、そういった議論も踏まえながら、次回ではなくて、その次になるかもしれませんが、その辺は多少流動的には考えていきたいと思っています。

委員： 話を元に戻してしまいましたが、地域交通は本当に地域の皆さんで練るのですか。この委員会で決めていいのですか。アンケート調査で確かに挙がっていたが、そのアンケートの中でどれだけの利用者数があったのか。どれだけお金がかかって、どれだけ利用者があったのか。費用対効果などを含めて議論することが会議だと思います。こういうものを決めるのに、この次で決定はないと思います。アンケートから出た答えで決めるのは違うと思います。

委員： この次の会議で結論を出すということではなくて、もう少し煮詰めていけたらいいと思います。いろんな意見を踏まえて、また考えてもらえればと思います。

事務局： 様々な形のご意見を頂きながら、今後のご意見を頂いて、もう少しシミュレーションをしながら決めていきたいと思っています。

委員： 他の委員からも話が出ていたが、町内だけとか町外だとか分けずに、下妻方面のバスがないから町外も一緒に考えた方がいいのではないのでしょうか。

事務局： 今回は、町外は次のステップでということで、対象は町内だけだったのですが、並行してある程度考える必要があると思います。

委員： 27頁に載っているように、八千代町から下妻を結ぶ公共交通の確保について計画案だと思いますが、使う人や子供たちのことを考えると出来るといいと思います。次回以降の会議にその辺りまた聞けたらと思います。

会長： 事務局にお願いいたします。私が先ほど次回の会議で決定したいということは時期尚早だと思いますので、そういうことではいかがですか。

事務局： 先ほど言ったように、もう少し時間をおいて検討する方向でお願いします。

議事(3) 先進地視察研修について

〔事務局より資料について説明〕

〔質疑・異議等なし〕

その他

事務局： ただいま承認頂きました視察研修につきましては、本日、机の上に八千代町公共交通会議先進地視察研修についての案内文をご用意いたしましたので、皆さまの参加をお願い致します。

なお、案内にもございますとおり、欠席、及び代理出席の場合は11/13(火)までにご連絡下さいますようお願い致します。

開 会